

インタビュー 領空侵犯

「農山村を孤立させては
いけない」と説いているそうぞう
すね。

「日本の農山村は守るべき
です。この国の原風景で、日
本人の心を形成してきた大き
な要素だからです。川の下流
の都市を洪水から守る治水の
役割もあります」

「ところが、コメや牛肉な
どの価格が下がり、農山村の
軸である農家が疲弊していま
す。これまでの農政はコメを
軸とする農産物の価格維持に
腐心し、一部の政治家の利権
を守ってきましたが、もう限
界です。政府は規制を緩め、

農山村を孤立させるな

立命館アジア太平洋大学学長
モンテ・カセム氏

Monte Cassim 47年スリランカ生まれ。70年スリランカ大建築学科卒、82年東京大大学院工学系研究科博士課程で都
市工学専攻単位取得。国連地域開発セン
ター主任研究員、立命館大国際関係学部
教授などを歴任した後、04年から現職。



修学旅行に体験ツアーを

民間の利害関係者とともに農
山村の自立を促す仕組みをつ
くるべきです」
——自立には新たな収入源
が必要ではないですか。
「農山村には田畑を耕す農
家だけでなく、土や稲わら、
木材で民芸品を作る職人もい
ます。地元の自治体が観光会

社などと協力、農家や職人の
生活を体験するグリーンツア
ーという体験型旅行を増や
し、修学旅行の目玉として都
市の中学校や高校にも売り込
むのです。都会の子供は、水
は蛇口をひねれば出てくると
疑いませんが、安全な水を飲
むためには源の川や湖の環境

を守ることが大切だと知る機
会を与えることは大事です」
「農山村の維持に批判的あ
るいは無関心な都市住民は少
なくありません。ただ、こう
した人たちもグリーンツアー
に参加すれば、農山村の価値
を理解する契機になるかもし
れません。都市に家を構えな

を打ち出すのです。誇れる特
徴がないのなら、品種改良な
どを通じ目玉商品を作ること
もできます。農業向けの補助
金をその資金にあてます」
——外国人もグリーンツア
ーに取り込めますか。
「はい、私の目には日本ほ
ど美しい農山村を持つ国はあ

がら、週末は農山村で過す
人も現れるでしょう。農山村
から人口が流出する一方、都
市から農山村に移り住む若者
も目立ちます。こうした人た
ちが自由に遊休地で農業がで
きるよう農地売買などに関す
る規制を緩めるべきです」
——グリーンツアーの恩恵
を受けるのは都市近郊の農山
村だけになりそうですが。
「交通が不便な農山村は日
本で一番甘いいかん」『際立
って美しい滝』のような特色

聞き手から

カセム氏はコメの凶作と緊
急輸入に揺れた一九九〇年代
前半を含む一時期、愛知県で
六百平方メートルほどの休耕田を借
り、コメを作った経験がある。
週末だけの「日曜農家」なが
ら、周囲から「農地の荒廃を
防ぐ」と感謝された。懸命に
農山村を守る人々を目にし
て、「第二の故郷」日本に対
する同氏の危機感は強まって
いる。

(編集委員 加賀谷和樹)

りません。外国人は日本の都
市や技術だけでなく、農山村
にも関心を持っています。道
州制の導入議論が今後再燃す
れば、地方は都市部を含め自
立が求められます。外国から
地方空港への航空機の直接乗
り入れも増えるでしょう。そ
の際、農山村を整備しておけ
ば外資をひきつけることがで
きます。私が勤める大学のあ
る大分県別府市には温泉とい
う恵みがあり、農山村と一体
で売り込むことも一案です」

もうひと言 韓国や中国からの観光客は九州の農山村にも魅せられている。

オピニオン